

コロラド州：小麦作柄と気象状況

2003年10月15日

2002年10月13日現在：

海拔の高い地帯を除き殆ど降雨の無い1週間であった。気温は平年を多少上回り、全州の平均農作業可能日数は6.7日であった。但し、東部平原では作物の生育シーズンの終わりを告げる今秋初めてのKilling frostがあった。

2003年冬小麦の播種作業は、全州の96%の圃場で播種が完了し、昨年(97%)より多少遅れ気味であるが5年平均(96%)と並んでいる。74%の圃場で出芽している(昨年並同期：78%、平年：79%)。土壌水分不足が原因し出芽は昨年並びに平年より遅れている。小麦の生育状況は48%が平年以下の“Fair”と評価されている。平年以上(Good又はそれ以上)は41%である。

土壌水分：

	Very Short	Short	Adequate	Surplus
Topsoil (%)	26	28	46	0
Subsoil (%)	63	26	11	0

小麦進捗状況：

	2002 Crop	2002 Last week	2001 Crop	5 yr. Ave.
Seeded (%)	96	90	97	96
Emerged (%)	74	53	78	79

小麦作柄状況：

	Very poor	Poor	Fair	Good	Excellent
Winter wheat (%)	1	10	48	34	7

2001年産、2002年産の作付・収穫面積は次の通りである。

	作付面積 エーカー	収穫面積 エーカー
2001年産冬小麦	2,350,000	2,000,000
2002年産冬小麦	2,350,000	1,650,000*

*2002年8月1日 USDA 予想。

昨年の作付け品種のトップはArkon(23.5%)であり、2位にPrairie Red(13.9%)が続いていた。中西部にHard White Wheatの作付けを奨励する動きがあり、HWWの作付けには条件が付くが政府補助金も出される事から、2003年産の作付け品種の動向に興味を持たれる。

当該作柄レポートに関するご質問等は下記までにお問い合わせ致します。

小川正晃 : Email ogawa.max@omicnet.com